

令和7年度 館林市立第五小学校 学校経営の方針

チーム 五小

全職員が、五小の組織の一員としての役割と責任を自覚し、相互に協力・助け合い、一丸となって課題解決に取り組む。

1 学校教育目標

(1) 基本目標

心豊かに、自ら学び、たくましく生きる児童を育成する

(2) 具体目標（目指す児童の姿）

- | | | |
|-----------|---------|----------|
| ○思いやりのある子 | ～やさしく～ | 【豊かな人間性】 |
| ○進んで学ぶ子 | ～かしこく～ | 【確かな学力】 |
| ○体をきたえる子 | ～たくましく～ | 【健やかな心身】 |

2 目指す学校の姿

笑顔いっぱい、輝きいっぱいの学校 ⇔ **地域から愛され、信頼される学校**
学校（仕事）が「楽しい！」・「よかった！」があふれる学校

- 子どもたちが活躍できる学校
- 子どもたちが学び合う学校
- 職員が働きがいのある学校
- 安全・安心な学校

⇔

- ・思いやりあふれる、楽しい学校
- ・活気に満ちた明るい学校
- ・礼儀正しく、けじめと潤いのある学校
- ・家庭や地域と協働し、開かれた学校

3 目指す教職員の姿

教育的愛情をもって、子どもに接する教職員

- 一人一人の子どもを大切にする教職員（愛情・熱意・誠意）
- 深い専門性と強い使命感をもつ教職員（授業力・対応力）
- 豊かな人権感覚をもつ教職員（同僚性・協働性）

4 経営の方針

- (1) 教職員の主体的・創造的な参画とチームワークを生かした学校経営を推進する。
- (2) 業務改善に努める意識を常にもち、教職員の勤務の適正化に努める。
- (3) 子どもによさや可能性を伸ばし、子どもが活躍できる学校づくりに努める。
- (4) 「豊かな人間性」「確かな学力」「健やかな心身」をバランスよく育む。
- (5) 教師としての強い使命感と倫理観をもち、職務の遂行能力及び資質の向上を図る。
- (6) 安全指導や安全対策の徹底を図る。
- (7) 保護者、地域に愛され、信頼される学校づくりに努める。

5 本年度の努力点

思いやりのある子

- (1) 積極的な生徒指導による「自己有用感」「自己肯定感」の育成
- (2) 「あいさつと返事」「時間を守る」「話を聞く」「掃除」「廊下の歩行」の励行
- (3) いじめ・不登校の未然防止及び早期発見・解決に向けた教育活動の徹底

進んで学ぶ子

- (4) じっくりと考え、学び合い、自分の考えを深める授業の実践（教材研究の充実）
- (5) 国語・算数における基礎学力の定着を目指した組織的・継続的な補充学習の充実
- (6) 家庭との連携による家庭学習の習慣化と読書活動の充実

体をきたえる子

- (7) 体育の授業、朝運動等の充実し、運動が好きな児童を増やす
- (8) 望ましい生活習慣を身に付けさせ、健康に過ごすことができる指導の徹底
- (9) 安全を意識させる指導の充実と安全・安心が保障された学習環境の整備